

インフルエンザ流行季節の診療ポイントを考える

～ワクチンの有用性・迅速検査の信頼性・治療の必要性～

日時 2020年1月21日(火) 午後7時～8時30分

場所 茨城県開発公社ビル 1階 中会議室

(茨城県水戸市笠原町978-25 当日連絡先 070-4345-2344)

■参加費:無料 ■駐車料:無料

総合司会 水戸市・いたけ内科クリニック 院長 飯竹 一広 先生

【特別講演】……午後7時～8時

インフルエンザ流行季節の診療ポイントを考える

～ワクチンの有用性・迅速検査の信頼性・治療の必要性～

演 者 一般財団法人筑波麓仁会 筑波学園病院 一般内科部長

福田 潔 先生

【Q&Aコーナー】……午後8時～8時30分

【福田先生からのメッセージ】

患者さんや家族の声に耳を傾けると……

- ・毎年ワクチン接種しているのに、昨年も今年もインフルエンザにかかってしまった。
- ・ここ数年ワクチン接種していないけれど、周りにいてもうつらない。
- ・ワクチンをしていると、インフルエンザにかかっても軽くすむって言われたけど本当ですか？といったワクチンの有用性への疑問がきかれます。
- ・発熱、頭痛、全身倦怠感でインフルエンザだと思っていたのに迅速検査で陰性と言われた。熱が出たばかりだと半分位しか陽性にならないとは言われたが、翌日再受診したら陽性と言われ、ゾフルーザを処方された。これってやぶ医者って言わないの？
- ・普通の風邪だと思って受診したら、念のためのインフルエンザ迅速検査で陽性と言われ、タミフルを処方された。飲まなきゃいけないの？

など、ワクチン、検査、治療に関する疑問は数多くあります。あえて主治医には面と向かっては言わないそうです。

■共催 一般社団法人茨城県保険医協会／一般社団法人土浦薬剤師会

■単位 日本医師会生涯教育講座認定単位取得予定(CC15)／日本薬剤師研修センター単位取得予定

参加申込書

切り取らずにFAX
029-822-1341へ
TEL029-823-7930、
info@ibaho.jpでも可
茨城県保険医協会

施設名	
参加者名	
会場地図	(要・不要) 「要」の場合FAX:
演者に聞いてみたい質問	

【インフルエンザ流行季節の診療ポイントを考える】事前質問一覧

※現在、寄せられている質問は下記のとおりです

1. 今後のゾフルーザの立ち位置
2. 小児に対するゾフルーザの位置付けについて(基本的に処方をはかえるべきか?)
3. 抗インフルエンザ治療薬の使い分けについて
4. 耐性ウイルスは問題にならないのか?
5. 抗インフルエンザ薬の投与を見送るケースは
6. 抗インフルエンザ薬以外の内服併用をすべきか、例えばカロナール、麻黄湯
7. 今年の流行タイプは?
8. 新型パンデミックへの対応は?
9. 小児全員接種復活の可能性は?
10. インフルエンザの迅速キット どの検査キットが最も良いか
11. 接種の必要性(年齢、仕事、疾患など)が高い人はどういう人か?
12. ワクチンの副反応が年度によって違う(かゆみ、腫れなど)と感じているが、具体的にウイルス種類等によって異なりますか?